

NO.	テーマ等	人権教育の視点等
(8)	性別にかかわらず、自分らしく生きよう	1－(1)－イ 基礎・基本の定着 2－(2)－ア 差別と人権問題についての学習 3－(1)－イ 個性・能力の伸長
	【活動対象領域等】 特別活動	【対象学年】 中学校 3年

1 ねらい

- (1) 男女が平等でない慣習や偏見の多くは、歴史的、社会的に形成されてきたことに気づくとともに、自分の個性を大切にし、自分らしく生きようとする視点を身につける。
- (2) 情報メディアを主体的に読み解いて必要な情報を引き出し、その真偽を見抜き、活用することができる。

2 指導にあたって

- (1) クラスの中にある性別にかかわる課題など、日常生活でよく見られる差別や偏見の多くは、歴史的、社会的に形成されたものである。したがって、差別の解消のためには、それらの意識がなぜ、どのようにして形成されてきたのかを理解し、人権尊重の立場から合理的に解決しようとする態度を育てる必要がある。
- (2) 性別についての見解では、おかしいことをおかしいと話し合う中で、固定的な社会通念に対する批判の目を育て、差別や偏見のない社会の実現に努めさせたい。そのために、相手の個性を尊重しながら、自分の個性も大切にし、自分らしく生きようとする態度を身につけさせる。
- (3) メディアを通して発信された情報には、間違っただ情報が含まれている場合もあることを知ったうえで、情報を正しく選択し、利用しようとする態度を身につけさせる。
- (4) 事前にワークシート1に回答させ、その結果を授業の導入に活用する。

3 指導計画（全2時間）

- (1) 第1次 性別による扱いが平等でないことを考える〔1時間〕 <本時>
- (2) 第2次 メディアリテラシーを考える〔1時間〕

4 備考

性別による扱いが平等でないことの認識は、個々人によって、生まれ育った環境等の影響を受けていることがあり、多様な価値観により意見が分かれることを授業者が理解しておくことが大切である。

自分の意見を主張し、他人の意見を尊重した意見交流を通して、互いの自尊感情を高め、性別にかかわらず自分にあった進路選択を可能にし、将来の職業選択へとつなげていく。

第2次では、男女共同参画の視点で、情報メディアについて考える。

5 展開例

第3学年 特別活動学習指導案

(1) 本時の目標

男女が平等でない慣習や偏見が歴史的、社会的に形成されてきたことに気づくとともに、自分の個性を大切にし、自分らしく生きようとする視点を身につける。

(2) 教材・準備物

ワークシート、キーワード、話し合いのルール

(3) 展開

学習活動	教師の指導・支援 等	学習評価
1 クラスの中にある性別にかかわる課題について考える。	☐ 事前アンケート（ワークシート設問1）の結果を提示して、クラスの中にある課題に気づかせる。 【ワークシート】	
身の回りの平等でないと思うことを発表しよう。		
2 性別による偏見について考え、話し合う。	☐ 性別による扱いについて、平等でないと思うことを発表させる。 ※出ない場合、発言を促すために、キーワードを示す。 【キーワード】 ☐ できるだけ多くの生徒に発表させ、多様なものの見方があることを気づかせる。 ☐ 職業や権利等キーワードに関することについては、性別にかかわらず選択できることを確認させる。 ☐ 話し合いのルールを大切に話し合わせる。 【話し合いのルール】	[関心] (発表) ・自分の考えを理由とともに発表できる。 [関心] (交流) ・友だちの意見をしっかりと聞くことができる。
誰もが自分らしく生きるためには、どうすればいいだろう。		
3 自分らしく生きるために必要なことを考える。	☐ 固定的な社会通念にとらわれずに、一人一人の生き方を尊重させ、自尊感情を育ませる。	[関心] (ワークシート) ・自分の考えを深め、実践しようとする。
自分らしく生きることの大切さを理解できる。		

Point

- ・キーワードを参考にペアトークや班学習をさせ、発表しやすい雰囲気をつくる。
- ・話し合った内容をクラスで共有し、考えを深めさせる。
- ・自分の生き方を見直し、ペアトークや班学習でシェアリングさせる。

6 学習資料 1 (ワークシート)

「自分らしく生きる」

3 年 () 組 名前 ()

- 1 クラスの中で、性別に関することで平等でないと思ったり、困ったりしたことを書こう。

- 2 社会 (生活) で、性別に関することで平等でないと思ったり、困ったりしたことを書こう。

- 3 誰もが自分らしく生きるためにはどうすればいいだろう。

- 4 授業の感想を書こう。

★振り返ってみよう。 < 4 (とても) ・ 3 (はい) ・ 2 (あまり) ・ 1 (いいえ) >

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ・自分の考えをしっかりとつことができた。 | (4 ・ 3 ・ 2 ・ 1) |
| ・自分の意見を発表することができた。 | (4 ・ 3 ・ 2 ・ 1) |
| ・友だちの意見をしっかりと聴くことができた。 | (4 ・ 3 ・ 2 ・ 1) |
| ・自分を見つめ直すきっかけになった。 | (4 ・ 3 ・ 2 ・ 1) |
| ・自分にできることはやってみようと思った。 | (4 ・ 3 ・ 2 ・ 1) |

7 学習資料2（キーワード）

※キーワードは、学校や地域の実態に応じて、話し合いのきっかけになるものを準備する。

<例>

- | | | |
|---------|------|-------|
| ①育休制度 | ②参政権 | ③学習権 |
| ④オリンピック | ⑤雇用 | ⑥メディア |

8 学習資料3（話し合いのルール）

<話し合いのルールの例>

- (1) 自分の意見は理由を必ず付けて言う。
- (2) 他の人の意見を否定しない。
- (3) 他の人の意見にははっきり賛成か反対かの態度表明をする。その際、理由をはっきり言う。
- (4) 理由に納得できたら、その意見を認める。
- (5) 意見を変えてもよい。ただし、その理由を言うこと。